

岩手大学における被災対応と課題



岩手大学理事・副学長
岩 淵 明

1/20

1. はじめに

岩手大学の被災の状況

- * 被災学生 一約300名 死亡学生1名
- * 建物・設備 一約7,700万円(軽微)



図書館(落下した本)



落下した高速クロマトグラフ装置

岩手大学におけるリスクマネジメント

- ・危機対策本部マニュアル
- ・留学生危機マニュアル
(国際交流に係る危機管理マニュアル)
- ・情報セキュリティマネジメントポリシー



2/20

3.11の行動

3.11

14:46 地震発生・停電

建物から避難

15:00 危機対策本部設置

安否確認

被害確認 全部局

後期入試(3.12)1週間延期. ただし札幌会場は実施

ワンセグにて津波の発生を確認

16:30 本部職員の帰宅許可

3.12午後 危機対策本部会議の開催

17:30 工学部退避・

留学生の対応(国際交流センター)

取りあえず決める

交通網の被害は不明

下見に来た受験生の対応？



5/20

3. 12以降

3.12

- ・危機対策本部
- ・入試の実施(札幌:欠席者1名/30名)
- ・盛岡での実施⇒決定できず。他大学の対応調査
- ・盛岡駅に受験生等帰れない人がバス5台にて仮眠
- ・**停電のため情報の確認が出来ない**
- ・14:30電気の回復⇒TVによる被害の甚大さの確認

3.13

- ・危機対策本部
- ・盛岡での試験中止⇒センター試験のみの利用
- ・卒業式の中止

入学式の中止と授業開始の日程を決定

学部の意見



6/20

マスコミ等への連絡

- ・受験生への試験延期のお知らせ
- ・報道依頼は持参(NHKまで700m)もしくは電話で(3.11夜は電話が使えた)

3.14 後期試験中止のお知らせ(FAXにて連絡)

3.15 卒業式中止のお知らせ(FAXにて連絡)

3.16 今後の対応についてお知らせ(FAXにて連絡)

- ・入学式の中止
- ・前期授業開始日の延期
- ・学生生活関係(被災して経済的援助が必要な場合の連絡先(学生支援課)
- ・心身の相談窓口の連絡先(保健管理センター)



7/20

学生の安否確認

対象学生: 6,081人(学部生、大学院生、研究生、留学生)

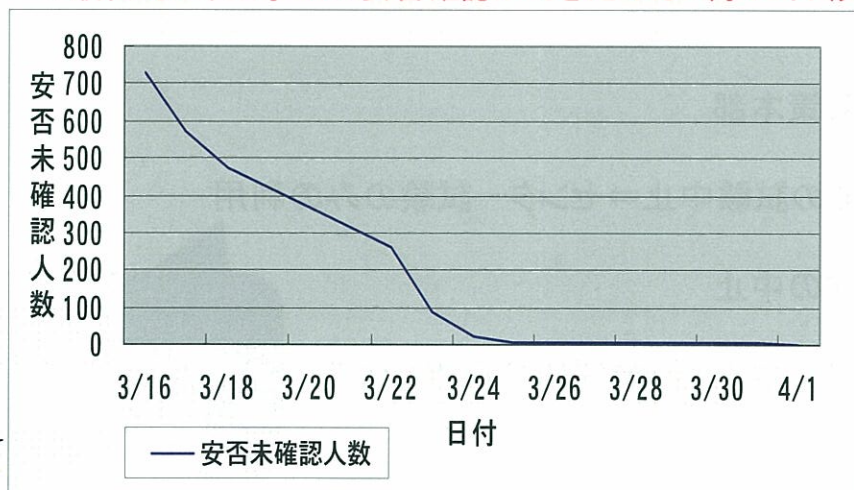
確認方法: ホームページで安否情報の提供を呼びかけ。(3.14)

学生支援課へメールで安否状況を連絡するよう依頼。

連絡がない学生に関しては、学務課から電話で個別に連絡。

緊急事態だったため、とにかく「漏れ」がないことを優先。

◆最終的に、全学生の安否確認ができたのは5月17日(火)。



3月16日－367名



4月1日－1名



5月17日－0名



8/20

職員の安否確認

在大学

出張教職員

試験監督者(札幌)

3.12の試験実施後帰任予定だったが、震災の影響で
足止めされ、2グループに別れ3.13, 15に大学へ戻った。

家庭の被害調査

勤務できない人の特別休暇←信号, 公共交通機関, ガソリン

●東日本大震災に伴う特別休暇・有給休暇の取得者数、取得日数

	人数	日数
常勤職員	29	92
非常勤職員	33	80
常勤+非常勤	62	172

理由(抜粋)

- ・震災により通勤が不可能となったため
- ・地震により仙台から盛岡に戻れず
- ・津波被災家屋(実家)の解体準備作業



9/20

学内情報系の経過

3.11

14:46 停電⇒

キャンパスネット・通信回線(岩手大⇄東北大):使用不能業務系
システムのサーバ室入室禁止(危険なため)

3.12

14:30 停電復旧⇒ネットワークの復旧(工学部を除く)

* 情報発信とメールの送受信など業務上必要な最小限のシステムのみ

3.14 工学部⇒ネットワークの復旧

Webサーバの復旧⇒トップホームページに学長のメッセージ
業務系システムを稼働

3.16 トップホームページを携帯電話対応のテキスト形式に変更

3.24 情報処理センターのサービスを全面再開

(東北電力の計画停電に備え、縮退運転をしていた。)



10/20

震災後の岩手大学トップホームページ

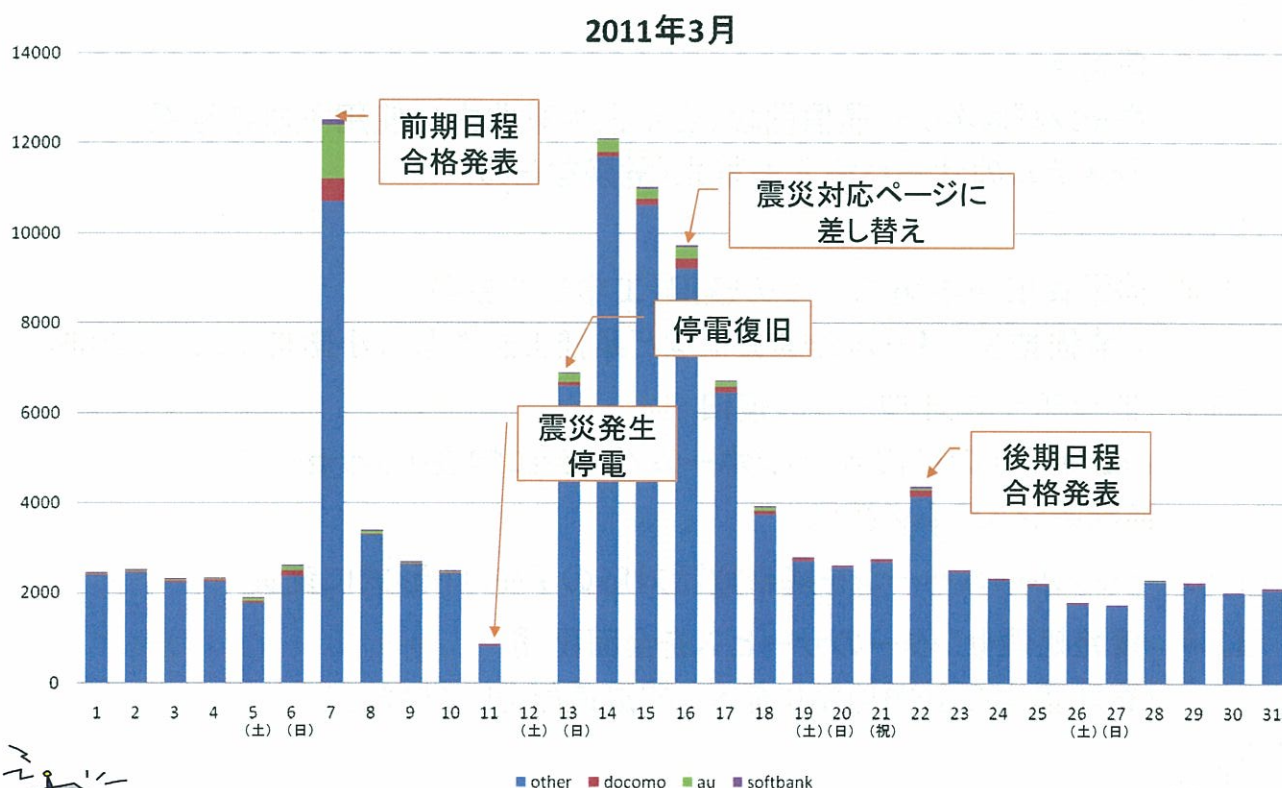
3月14日 停電復旧時のホームページ

3月16日～5月23日までのホームページ



11/20

岩手大学トップホームページアクセス数(2011/3)

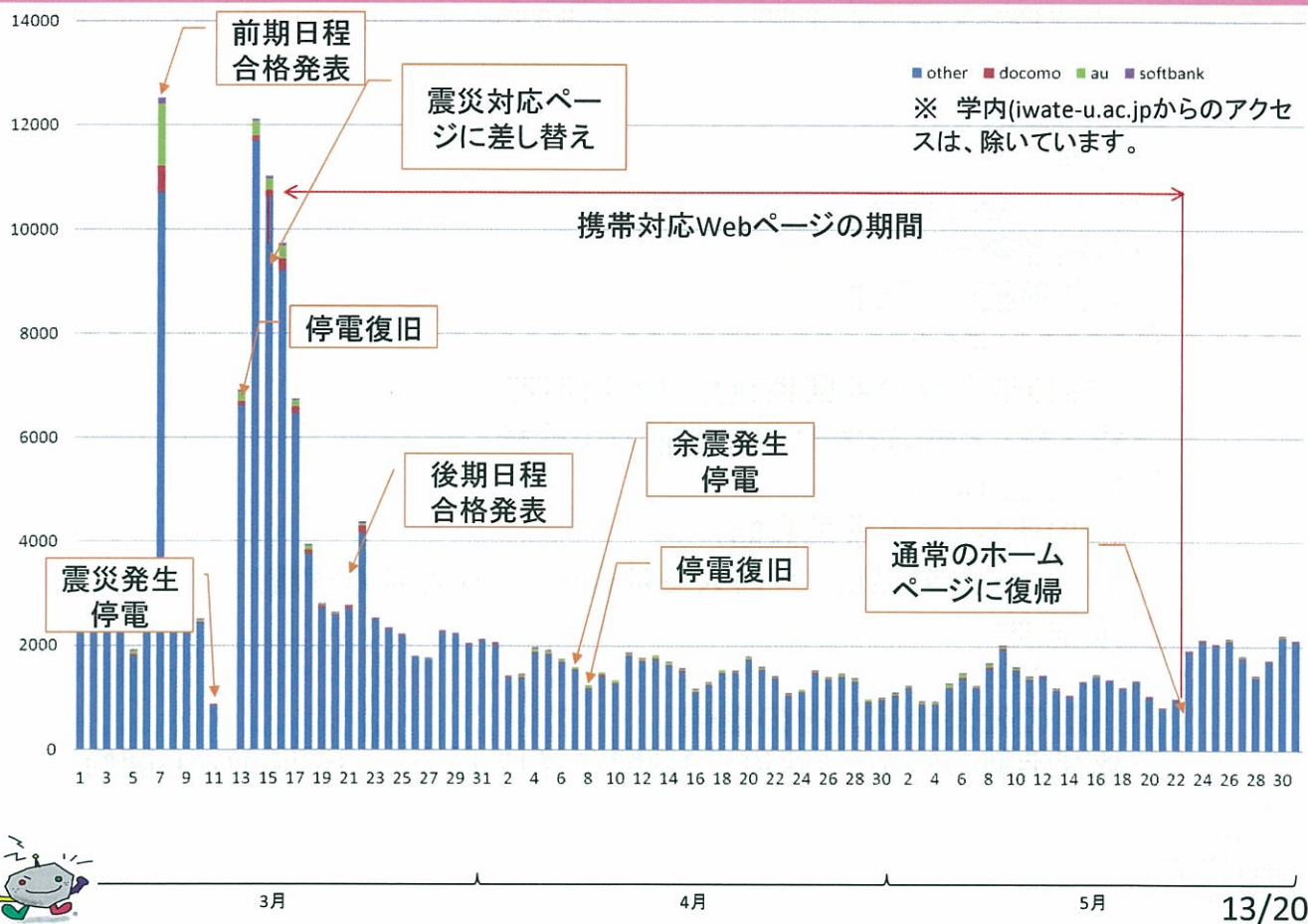


※1 アクセス数のスケールが、月によって違うので注意してください。
 ※2 学内(iwate-u.ac.jp)からのアクセスは、除いています。



12/20

岩手大学トップホームページアクセス数(2011/3-5)



留学生の行動

3.11 国際交流センター(宿舎)から大学へ⇒余震の不安
講義室への集団避難(盛岡市の避難所よりは)

毛布等の緊急物資の所在が不明確

3.14 留学生の安否確認開始
中国総領事(札幌) 来学⇒中国人留学生と懇談

中国人 避難開始(盛岡⇒新潟⇒北京)
他国からの留学生⇒適時判断し帰国の途
145/201人が国外退去

原発への危機感

3.15 留学生全員の安否確認完了

◆一時帰国していた留学生も、4月中にはほぼ全員が岩手大学へ戻った。



後期試験

- ・延期
- ・中止⇒合格基準
- ・合格者発表
- ・入試手続きの延長

卒業式の中止

- ・3.23の予定⇒岩手県民会館の使用不可
- ・各学部・学科による卒業証書授与で代替

入学式の中止

- ・4.7の予定(岩手県民会館)
- ・人生の一つの区切り⇒新入生歓迎の集い(大学体育館)

授業開始

- ・4.11⇒5.9
- ・15週の確保⇒夏休みの短縮
- ・教育学部の特例:教育実習3週間(9月)を優先し, 3週間前から開始



15/20

学生への支援

危機対策本部⇒方針決定

◆岩手大学被災学生支援募金

- ・口座開設
- ・呼び掛け文
- ・目標募金額:3, 000万円

◆被害調査⇒HP等で(回答数584)

- ・家族の死亡等
- ・実家の全壊, 半壊, 床上浸水
- ・経済負担者の失業等
- ・原発の避難区域

⇒要支援学生数296人

◆納入金の返還

入学金の免除(対象68名)

⇒手続き者への返納(41名)

授業料免除(対象全免196名, 半免20名)

⇒手続き者への返納(全免47名, 半免7名)



16/20

入学者への対応

後期試験の中止

札幌会場では実施(3.12)⇒受験生に電話でお詫び

入学手続き

- ・前期合格者の入学手続きの延長⇒2日間から3日間へ(3.14～3.16)
手続き未了者(21名)に対し電話確認(最終確認日3.22)

後期試験

発表 3.22 ⇒合格通知書、手続き書類を発送するにあたり、被災地域
居住者34名に対して1人ずつ電話で届け先確認。

手続き 3.27⇒手続き未了者(64名)に対し電話確認
⇒連絡とれない学生は待つ(最終確認日4.12)

※手続き困難者については、電話で本人に入学意志を確認した上で、
4月中に手続きをしてもらうこととした。

入学者の最終決定

入学者/定員:1189/1075 (10%以内を堅持)

震災学生への対応

推薦・前期合格者で被災者⇒申請⇒返納

後期合格者⇒申請



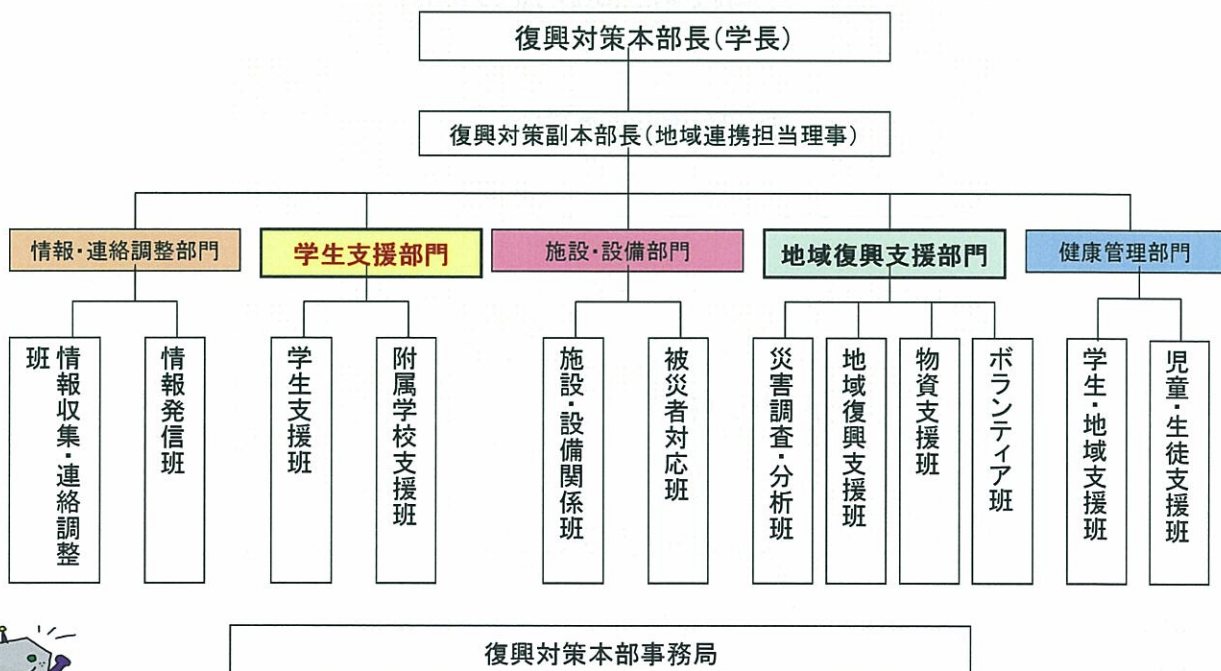
17/20

岩手大学東日本大震災復興対策本部

・3月中に安否確認⇒定常的

・4月1日付で設置

『岩手の復興と再生に』オール岩大パワーを



18/20

反省点

- ・初めての経験⇒長時間の停電は**想定外**
 - ・危機対策本部の構成は本部の職員のみ
(各学部, センター等からの情報収集と情報伝達が不十分)
 - ・各学部での支援策と全学の方針のギャップ
 - ・停電により学外との連絡がほぼ不可
正確な情報確認が出来ない⇒他大学の対応
 - ・情報収集はラジオのみ(欲しい情報?)
 - ・携帯の有効性と電力補充
 - ・**役員等のガバナンスの欠如⇒場当たりの**
-
- ・ガソリンの不足⇒備蓄の限界
自家発電の時間の制限
大学の公用車の活動制限
自家用車による通勤の制限



19/20

今後の対応

○ 危機マニュアルの更新

- ・行動経過と問題点の抽出



定期的訓練の実施

○ 大学のガバナンス

- ・情報の収集



他大学と類似の対応?



20/20